

# 提 言

今後の専門学科の在り方について

平成20年12月

宮城県産業教育審議会

# 目 次

はじめに

- 1 地域づくりと産業教育について
- 2 これからの専門高校の学科構成について
- 3 長期的な視野に立った今後の専門高校の在り方について
- 4 提言 「今後の専門学科の在り方について」

## はじめに

本審議会では、平成16年10月に県教育委員会より「時代の変化に対応した専門高校の在り方について」の諮問を受け、社会の変化や地域・生徒のニーズに対応した教育内容、職業観や勤労観の育成、学習環境の整備などの観点から審議を重ね、平成18年2月に、答申を取りまとめたところである。

その後、平成19年11月には、県教育委員会から各専門高校の取組状況について報告を受け、それぞれの高校においては、将来のスペシャリストとしての基礎・基本の習得、インターンシップの推進、多様な進路希望への対応、地域や産業界との連携などを教育課程に盛り込むなど、各高校の特色を生かした専門教育を推進していると理解している。

一方、近年の社会や経済の急激な変化により雇用形態も多様化し、また本県においては、ものづくり企業の立地が進み、産業構造も大きく変わりつつある。このような中で、高等学校においては、社会の急激な変化に的確に対応し、自立した人間として社会に貢献できるような生徒の育成がなお一層求められている。

折りしも、本年度、県教育委員会では、県立高等学校将来構想審議会を設置し、平成23年度以降の本県高等学校の在り方について検討を始めたところである。この時期を踏まえ、本審議会では、前回の答申後の各専門高校の取組や社会状況及び本県の産業構造の変化等を考慮し、将来を見据えた専門高校の在り方について、「地域づくりと産業教育」「これからの専門高校の学科構成」「長期的視野に立った今後の専門高校の在り方」の3つの観点から議論し、県教育委員会への提言として取りまとめたところである。

今後、この提言をもとに、将来の専門高校の在り方について活発な議論が展開されることを期待するものである。

## 1 地域づくりと産業教育について

### 【提言】

地域の特性や産業構造，地域のニーズ等を踏まえ，地域の期待に応え，地域産業の発展に貢献し，地元から支持され，地域の拠点となる学校づくりが望まれる。

また，地域との連携を一層強化し，地域産業を担う人材の育成，地域産業のリーダーとなる人材の育成を図ることが望まれる。

### 【現状と課題】

本県では，現在「富県共創！活力とやすらぎの邦（くに）づくり」を県政運営の理念とし，製造業の集積促進に向けた企業誘致をはじめ，中小企業の競争力強化や，企業活動を支える産業人材の育成・確保の一層の充実を図っている。

また，「食材王国みやぎ」のテーマのもと，食に関する多様なビジネスの機会や雇用の創出を目指している。

このような県政運営の方針や本県を取り巻く状況等を踏まえるとともに，地域の特性や産業構造，地域特有のニーズなどにも配慮していくことが必要である。こうした観点も含め，地域の期待に応え，地域産業の発展に貢献し，地元から支持され，地域の拠点となるような学校づくりが求められている。

さらに，インターンシップの充実など，地域との連携をこれまで以上に一層強化し，地域の産業構造を反映した教育の実践を通して，地域産業を担う人材の育成を図ることが求められている。同時に，職業観や勤労観，豊かな人間性も兼ね備えた，地域産業の発展をリードする人材の育成も望まれる。

## 2 これからの専門高校の学科構成について

### 【提言】

地域産業構造に対応し、成長が期待される業種に向けた人材の育成、並びに、将来の生活基盤を支える地域の担い手となる人材の育成を行うための学科構成とすることが望まれる。

多様なニーズや産業構造の変化に積極的に対応するため、それぞれの学科を融合した新たな教育や、複数の専門学科を有する専門高校の配置や、特定分野の専門的な教育を行う高校の設置など、大胆な学科の改編が望まれる。

### 【現状と課題】

県の産業施策や、富県戦略などに盛り込まれ、大幅な成長が期待できる業種に向けた人材の育成と確保が課題となることから、総花的に学科メニューを広めるのではなく、地域の特性に合わせて、限られた教育資源を配分し、選択して集中するなど、地域産業の規模に応じた学科の適正化が必要である。

しかしながら、生活基盤を支える地域産業の担い手となる人材の育成を行う学科の配置も必要である。

専門高校においては、私たちが生きていく上での基本となる事柄についての教育が行われており、「食」を支える教育や、環境問題・消費者問題等は、すべての学科において教育することが大切である。

これからの産業構造の変化や、地域の求める多様なニーズに積極的に対応するため、農業、工業、商業などを融合した新たな教育や、商業や工業など、複数の専門学科を有する専門高校の配置や、特定分野の専門的な教育を行う高校の設置など、今までの延長線上ではない大胆な学科改編を行い、今後必要となる能力をしっかりと身に付けた人材育成が求められる。

### 3 長期的視野に立った専門高校の在り方について

#### 【提言】

産業教育をグローバルな視点で捉え、プロフェッショナルとして活躍する高度な技術レベルを持った人材の育成を進め、キャリア教育の一層の充実が望まれる。

グローバルな視点からの、戦略性を持った県の行政や、地域産業における状況の変化に対して、柔軟に対応できる産業教育が望まれる。

#### 【現状と課題】

これまで、専門高校ではキャリア教育を推進し、地域産業界との連携を図りながら望ましい職業観を養い、専門科目の基礎的、基本的な技能・技術の習得を目指した取組を行ってきた。

現在、専門教育の必要性は各産業界から認知されており、地域はもとより各産業界から、専門の技能を持った人間の育成が強く求められている。

しかし、経済のグローバル化の進行は、既に世界を市場として事業展開している本県立地企業のほか、これまで地域経済を担ってきた既存企業においても、世界を相手とする競争がスタートしており、世界経済の動向を視野に入れながら、地域経済を把握する力が求められている。

今後は、それぞれの専門分野でプロフェッショナルとして活躍する、高度な技術レベルを持った人材の育成を進めるとともに、産業教育をグローバルな視点で捉えた教育が重要であることから、3年間の高等学校教育で完結することなく、専門学校や大学等での継続した教育も求められる。このことを踏まえ、専門高校にあっては、生徒一人一人の望ましい職業観や勤労観の育成の観点から、さらなるキャリア教育の充実が必要である。

また、専門高校にあっては、アジアに開かれた広域経済圏の形成など、戦略性を持った県の行政や、国際的に競争力のある産業集積や県内企業の海外販路開拓など、地域産業界の、変化に対して、柔軟に対応できる産業教育が求められる。

#### 4 提言 「今後の専門学科の在り方について」

##### (1) 【地域づくりと産業教育について】

地域の特性や産業構造，地域のニーズ等を踏まえ，地域の期待に応え，地域産業の発展に貢献し，地元から支持され，地域の拠点となる学校づくりが望まれる。

また，地域との連携を一層強化し，地域産業を担う人材の育成，地域産業のリーダーとなる人材の育成を図ることが望まれる。

##### (2) 【これからの専門高校の学科構成について】

地域産業構造に対応し，成長が期待される業種に向けた人材の育成，並びに，将来の生活基盤を支える地域の担い手となる人材の育成を行うための学科構成とすることが望まれる。

多様なニーズや産業構造の変化に積極的に対応するため，それぞれの学科を融合した新たな教育や，複数の専門学科を有する専門高校の配置や，特定分野の専門的な教育を行う高校の設置など，大胆な学科の改編が望まれる。

##### (3) 【長期的視野に立った今後の専門高校の在り方について】

産業教育をグローバルな視点で捉え，プロフェッショナルとして活躍する高度な技術レベルを持った人材の育成を進め，キャリア教育の一層の充実が望まれる。

グローバルな視点からの，戦略性を持った県の行政や，地域産業における状況の変化に対して，柔軟に対応できる産業教育が望まれる。